



学校だより

な が お か

令和6年3月15日発行 No.12

《学校教育目標》

心豊かにたくましく生きる長岡の子の育成

南国市立長岡小学校 ☎ 088-864-2309 FAX 088-864-2329

令和6年度4月からの新たな取組 教科担任制の導入と校時の変更

学校・PTA役員で協議し、令和6年度4月から、教科担任制の導入と校時の変更を行うこととしました。

1 教科担任制の導入

これまで、高学年の専科授業を除いては、ほぼ全ての授業を学級担任が行ってきました。

令和6年度は、学級担任による学級づくりをベースにしながら、授業については、教員間で授業を交換する教科担任制に取り組みます。（従来も学習内容が専門的になる高学年を中心に、例えば、1組の担任が1・2組の音楽を、2組の担任が1・2組の家庭科を担当する等の授業交換を行ってきましたが、これを全学年において導入します。）

どのような目的・ねらいがあるのか？

教科担任制の取組は、他校や他市町村でも導入が広がっています。主な目的・ねらいは次のとおりです。

（1）授業の質の向上

個々の教員の専門性や得意分野を活かして、質の高い授業を目指し、学力向上を図ります。

個々の教員の担当教科数を削減することで、教材研究や教材の準備等に従来よりも時間をかけることができるようになります。

（2）チームによる児童理解・支援

複数の教員が、授業を担当することで、学級担任とは違った視点で、児童のよさや頑張り、困り感等を捉えることができます。

授業に入る教員間で、児童についての情報を共有し、支援方法を協議することで、従来よりも児童理解を深めるとともに、チームで児童の支援ができるようにしていきます。

2 校時の変更 ～教科担任制を推進するために～

教科担任制によって授業改善やチームによる児童支援を進めるためには、上述のように、教員間で情報共有と協議をする時間が不可欠となります。

そのため、3～6年生は、月曜日を6校時から5校時（5時間授業）に変更し（1・2年生は従来どおり5時間授業）、児童下校時刻を早めることで、教員の情報共有や児童理解のための協議時間を確保します。

これにより、令和6年度の3～6年生は、年間で28時間の授業時数減となる予定です。

授業時数が減ることについては、不安をもたれる方もいらっしゃると思いますが、以下のような考えによるものですので、ご確認いただき、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

校時変更に対する考え方 ～社会の動向も踏まえて～

（1）標準授業時数の確保

国が定めた標準授業時数の1,015時間（4～6年

生）は、令和5年度の5年生を例にとると、年間で30時間弱の授業時数減となっても、確保できます。

・標準授業時数 ……1,015時間

・本校5年総授業時数…1,049時間（+34時間）

（2）帯タイムを授業時数としてカウント

帯タイムの学習（本校では、計算・国語チャレンジの時間）を授業時数としてカウントしてもよいことになっていることから、帯タイムの学習（10分間）に1週間取り組むことで、1時間の授業としてカウントします。

令和5年度の5年生を例にとると、帯タイムを授業とすることで年間39時間となり、帯タイムの学習の充実によって年間30時間弱の授業時数減を相殺できます。

（3）総授業時数の是正

社会問題化する公立学校教員の長時間労働是正のため、文部科学大臣の諮問機関「中央教育審議会」特別部会緊急提言（令和5年8月28日）では、標準授業時数1,015時間を大きく上回る1,086時間以上の学校に対し、授業負担を軽減するために令和6年度からの見直しを求めています。

令和5年度の5年生を例にとると、帯タイムを授業時数としてプラスした本校の総授業時数は1,088時間であり、是正対象となっています。

教科担任制の導入と校時の変更により、「授業の質の向上」「チームによる児童理解・支援」に取り組み、「長岡の子を教職員全員で育てる」ことの具現化を目指します。